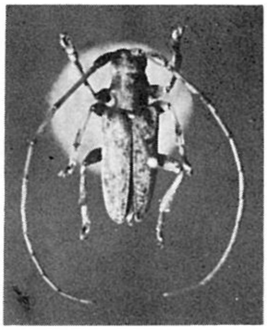
対馬でヒメビロウドカミキリを採集

藤井　心平

ヒメビロウドカミキリ *Acalolepta degener* (BATES) は，本州・九州で局所的に分布していることが知られているが，対馬における記録はなかったものと思われる。

筆者は下記のように，本種を対馬から採集しているので報告しておきたい。

1♂，長崎県対馬有明山，26. viii. 1975，藤井心平採集
1♂，　〃　佐須奈，5. vii. 1976，中田隆昭採集
1♀，　〃　〃，5. vii. 1976，藤井心平採集



有明山では，灌木上に静止していた個体を採集. 佐須奈では，クリ畑で花を叩いていたところ，樹から頭上へ落下したものと，クリ林周辺のススキの茎を這っていたものを採集した。いずれも曇りの日であった。

朝鮮半島，大陸産の *A. degeneroides* (BREUNING) との関係が興味深い。

(〒577 東大阪市永和 2-23-18 皆川方)

シナノムナクボカミキリの新産地

山上　　明

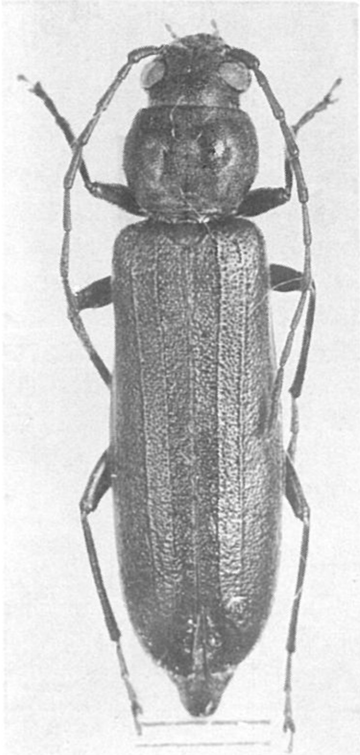
シナノムナクボカミキリ *Arhopalus tobirensis* HAYASHI は1968年に林匡夫博士により記載された種であるが，その分布は極限されており，記載以後10年間，原産地の長野県扉温泉〜扉峠付近以外での採集例はまったく知られていなかった。

筆者は神奈川県の西丹沢箒沢(ほうきさわ)にて採集された本種を所持しているので報告しておきたい。

1♀，神奈川県西丹沢箒沢，2. viii. 1975,
大類正久採集

この個体は，神奈川県立城内高校生物部の合宿中に燈火に飛来したものであり，同時にサビカミキリ *Arhopalus rusticus* (LINNE) も3頭採集されている。扉峠で最初に本種を採集した早川広文氏によれば，扉付近においてもサビとシナノムナクボは同じ所で採集できるという。

なお，箒沢付近はすでに自然林がほぼ伐採しつくされ，本種のホストと思われるモミ，ツガなどは見当たらないが，周囲にある標高1200m以上の尾根部にはブナを主体とした自然林がかなり残されており，一部にモミ林



も見られる。

末筆ながら，標本を御提供いただいた湘南自然センターの大類正久先生および同定その他に御尽力いただいた藤田宏氏にお礼申しあげる。

(〒251 藤沢市藤沢 2524)

今号はスペースがなくなってしまったので，編集後記はお休みとします。2年前，16ページのELYTRAを出す予算しかなかった時のことを思い返すと，感慨無量です。　(藤田　宏)

ELYTRA　Vol. 6, No. 1

昭和53年8月25日　印刷
昭和53年8月30日　発行

編集者　藤　田　　宏
発行者　草　間　慶　一
発行所　日本鞘翅目学会
Japanese Society of Coleopterology
東京都台東区東上野4-26-8
福田惣一方 (〒110)
c/o, FUKUDA, 4-26-8, Higashi-Ueno, Taitō-ku, Tōkyō Japan
印　刷　㈱大和印刷